

＜平成30年度 学校アンケート結果と考察＞

資料

1 学校教育目標及び重点目標に対する学校アンケート（教職員・生徒）

【生徒アンケート結果】		（※上段…H29年度，下段…H30年度）				
No	あてはまるところに○を書いてください。	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無答
1	学校教育目標や学年目標等を意識することができた。	16	45	27	9	1
		20	63	15	1	0
2	「あいさつ」に対する取り組みが向上した。	32	57	8	1	0
		61	36	3	0	1
3	「歌声」に対する取り組みが向上した。	31	53	12	1	0
		52	39	7	2	1
4	「清掃」に対する取り組みが向上した。	16	62	17	2	0
		32	54	12	1	1
5	相手の立場や気持ちを大切にし、思いやることができた。	30	55	10	2	0
		45	49	5	1	1
6	いじめや暴力のない学校づくりに取り組んだ。	39	46	10	3	0
		50	43	5	2	1
7	公共のルールやマナーを守れるように取り組んだ。	51	42	3	1	0
		64	31	4	1	1
8	アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）による授業が多くなってきた。	36	49	12	2	0
		64	32	3	1	1
9	学習に対する意欲や努力を十分に表現することができた。	31	48	15	3	0
		26	60	12	1	0
10	楽しい学校生活を送ることができた。	45	38	9	5	1
		66	28	4	1	1
11	落ち着いた学校生活を送ることができた。	45	43	7	1	1
		43	46	9	2	1
12	自分のことを理解してもらえるように先生と話ができた。	32	44	15	6	1
		26	55	16	2	1
13	防災訓練等をとおして災害に対する心構えができた。	52	40	4	1	1
		41	46	11	2	1
14	授業中に、わからないところを聞いたり、説明したりすることができるようになった。	33	50	11	3	0
		42	48	8	2	1
15	友人関係や他者とのコミュニケーションがうまくできた。	40	45	9	3	1
		55	37	6	2	1
16	学校行事に積極的に参加することができた。	44	42	8	3	1
		60	32	6	1	1
17	部活動や係活動等に積極的に取り組むことができた。	49	36	7	4	1
		64	28	5	1	2

【生徒アンケート結果の考察】

☆ 1番と12番の2項目以外はすべて85%以上という高い評価が返ってきた。中でも2「あいさつ」97%、8「アクティブ・ラーニング」96%、7「ルール・マナー」95%については、極めて高い結果となった。この3項目については、生徒も教職員も共に具体的に行動化してきたので、目に見える変化として捉えることができ、実感を持って受け止められたものとする。

☆ 1「目標への意識」83%と12「先生との対話」81%については85%を超えなかったが、61%→83%、72%→81%と前年度の結果よりはかなり上回った。それ以外の項目についても前年度をほぼ上回る結果が得られた。唯一「避難訓練」の項目については92%→87%と下がっている。

☆ 教職員・生徒が共通の土俵で取り組んできたことは、成果としても顕著に表れ、達成感も得られている。結果として【目指す生徒像】の4つの項目についても十分に迫ることができたと考える。(以下の数は該当の項目番号)

- ・自ら学び、思考、表現する生徒…8, 9, 14, 12
- ・情操豊かで品位ある生徒…2, 3, 7, 11,
- ・思いやり、助け合える生徒…4, 5, 6, 15
- ・健康でたくましい生徒…10, 13, 16, 17

★ 次なる課題は、最も高い評価4をどのように上げていくかということである。4の評価が少ない項目(40%未満の項目=1, 4, 9, 12)に焦点を当てて取り組むことである。それが全体への働きかけとなり、評価1や評価2、無回答の数を減らすことにもつながっていくのである。

<残り2ヶ月の課題に対する取り組みの具体例>

- 1:「学校教育目標・学年目標等の認知度」を引き上げるために…到達度テストで確認
- 4:「清掃」を引き上げるために…モデル清掃、おやじの会トイレ掃除
- 9:「学習意欲・努力の表現」を引き上げるために…「R80」等の振り返りの採用
- 12:「先生との対話」を引き上げるために…会話量の少ない生徒の把握と学年対応

それぞれの学年・学級・部活動・委員会等で具体的な改善策を考え、実践し、次年度につなげていきたい。

【教職員アンケート】（学校をよりよくするためのアンケートです！）						
No	あてはまるところに○を書いてください。	そう思う	大体 そう思う	あまりそう 思わない	そうは 思わない	無答
1	学校教育目標や経営の重点を理解している。	54	40	4	0	0
		44	52	0	0	4
2	「あいさつ・歌声・清掃」を意識させ、向上するように働きかけている。	2	50	43	4	0
		44	54	0	0	2
3	道徳の授業を大切にし、思いやりのある豊かな心を持った生徒を育てようとしている。	27	61	6	0	4
		34	52	0	0	14
4	積極的にいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	56	36	4	0	2
		62	32	0	0	6
5	公共のルールやマナーを守る生徒を育てようとしている。	36	50	9	4	0
		58	36	0	0	6
6	「主体的・対話的で深い学び」の視点で、授業改善に取り組んでいる。	9	70	11	4	4
		52	38	2	0	0
7	学習意欲や努力を公平・適切に評価している。	29	50	13	2	4
		44	48	0	0	8
8	楽しい学校生活を送ることができるように積極的な支援・指導を心がけた。	4	90	4	0	0
		50	46	0	0	4
9	落ち着いた学校にするために、共通理解・同歩調で生徒指導をしている。	18	47	22	9	2
		42	46	6	0	6
10	生徒指導の機能を生かした「わかる授業」の実践に努めている。	6	81	9	0	2
		40	46	4	0	10
11	特別支援教育を推進し、個別指導を大切にしている。配慮がなされている。	22	61	9	6	0
		32	48	14	0	6
12	傾聴や承認を大切にし、生徒理解に努めながら長欠対策を積極的に行っている。	11	68	15	0	4
		38	56	2	0	4
13	防災訓練等をとおして危機災害に備えた指導が行われている。	20	63	6	6	2
		40	52	6	0	2
14	友人関係や他者とのコミュニケーションがうまく取れるように支援している。	2	61	34	2	0
		36	60	0	0	4
15	学校行事に積極的に参加できるように指導している。	30	65	2	0	2
		56	40	0	0	4
16	部活動や係活動等に積極的に取り組むことができるように指導している。	18	72	6	0	2
		54	34	4	0	8
17	進路指導を計画的に、適切に行っている。	27	59	9	0	4
		28	52	8	2	10
18	積極的に授業や行事を保護者に公開している。	47	45	4	0	2
		52	38	2	0	8
19	生徒や保護者の意見、相談に耳を傾け、丁寧な対応を心がけている。	36	52	6	0	4
		46	50	0	0	4
20	家庭への連絡や情報交換をきめ細かく行うようにしている。	36	52	6	0	4
		44	48	2	0	6
21	ホームページや学校だより、学年通信等を工夫し、情報発信に努めている。	31	59	9	0	0
		44	44	4	2	6

【職員アンケート結果の考察】

すべての項目で、(そう思う・まあそう思う)が80%を超えた。85%を超えなかったのは2項目。11番「特別支援教育の推進」と17番「進路指導の充実」であった。

☆ (そう思う)という評価の経年比較では、以下の5項目が大きく伸びた。

- 2「あいさつ」…2%→44%
- 6「主体的・対話的で深い学び」…9%→52%
- 8「楽しい生活」…4%→50%
- 10「わかる授業」…6%→40%
- 14「コミュニケーション」…2%→36%

☆ (そう思う・だいたいそう思う)が95%を超えたものは、次の6項目である。

- 1「学校教育目標及び経営重点の理解」…96%
- 2「三大伝統への指導」…98%
- 8「楽しい学校生活」…96%
- 14「コミュニケーション」…96%
- 18「学校行事への参加」…96%
- 19「傾聴・丁寧な対応」…96%

★ (そう思う)が40%未満で低い項目は、以下の5項目である。

- 3「道徳の授業」…34%
- 11「特別支援教育」…32%
- 12「長欠対策」…38%
- 14「コミュニケーション」…36%
- 17「進路指導」…28%

☆ 【求める教師像】は、直接アンケートを実施していないが、先生方からの聞き取りや面談から①～④ともに意識されていると考える。特に②についてはスキル実践している先生が増えている。

- ①白山中が一番好きな教師
- ②信頼関係がしてくれる教師
- ③生徒の気持ちがわかる教師
- ④学び続ける教師

<残り2ヶ月で取り組むべき具体例>

- ・「道徳の授業」を引き上げるために…「思いやり」に特化した道徳の授業実践
- ・「特支教育」を引き上げるために…次年度に向けた個別の支援計画・指導計画の見直し
- ・「長欠対策」を引き上げるために…長欠生徒に対する次年度に向けた指導計画の立案
- ・「コミュニケーション」を引き上げるために…SGEや学級レクの実施、対話的な学び
- ・「進路指導」を引き上げるために…年間計画の見直し(学活の進路学習・進路行事等)

2 保護者意見(1月末時点で集まったご意見)

- ・ 今後も先生方と生徒でより良い学校づくりができるよう協力していきたい。
- ・ 各教科で先生方の工夫があり、学習を効果的にしている。生徒にも喜ばれている。
- ・ 3年間充実した学校生活を送れたことに感謝。2年次の職場体験では、ハローワーク方式で行われ、コミュニケーション力、プレゼン力が身につく良いプログラムであった。今年度は、「親の職場」「知り合いの職場」という準備になったのでとても残念。

3 学校評価アンケート（運営委員・分掌担当者）

【学校評価アンケート（運営委員・分掌担当者等）】								
<評価は1, 2, 3, 4, 5（低→高）の5段階評価>						調査日:平成31年1月18日(金)(20名)		
評価の観点		1	2	3	4	5	改善点	
教育目標・指導の重点	1	教育目標が生徒・学校・地域の実態や当面する教育課題に即応していますか	0%	0%	5%	30%	65%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の評価が次の月に反映されるように提案資料を改善する。 ・目標に対するゴールの具体的な姿取組期間、内容等を明確にする。 ・教職員と生徒が目標や評価、取組内容等を共有する。 ・3, 4, 5は以前よりかなり改善されているが、担当教員・生徒・保護者個人による差はある。 ・目標は認知され、活かされつつある。 ・時数確保の工夫はしてもらっているが、永遠の課題である。 ・行事の精選, スリム化を検討する必要がある。
	2	教育目標が教育活動を進める上で生かされていますか	0%	0%	15%	35%	50%	
	3	教育目標が教職員・生徒・保護者に理解されていますか	0%	0%	20%	55%	25%	
	4	指導の重点が各教科・領域・学年・学級の指導に生かされていますか	0%	0%	15%	50%	35%	
	5	評価結果が次年度に生かされ、計画が改善されるようになっていきますか	0%	0%	20%	50%	30%	
	6	年間指導時数の確保と週時程の運営ができましたか	0%	5%	15%	75%	5%	
各教科	7	教科ごとに、その目標を明確にした指導計画が作成されましたか	0%	0%	35%	40%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・「グループ学習」の目的、内容を明確にし、「活動あって学びなし」にならないようにする。 ・「めざす授業像」を授業評価に組み入れ、生徒の振り返りを行う。 ・座学については、各教科での毎時間の板書を写真で蓄積する。 ・学力向上に対する学校評価とそれに対する各教科のカリマネが必要。 ・7, 8, 10, 12は以前よりかなり改善されているが、担当教員による個人差はある。 ・教科部会の確保が課題 ・同じ教科の中で差が出ている。 ・1学年は「対話的」が意識できた。 ・倉庫にあるものを各教科で確認して、整備したい。
	8	指導内容の精選と重点化を意識的に行っていますか	0%	0%	25%	45%	30%	
	9	生徒一人一人の個性や能力に応じた指導が工夫されましたか	0%	0%	35%	35%	30%	
	10	「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善がなされましたか	0%	0%	20%	45%	35%	
	11	各教科の教材・教具の整備・開発・活用が意識的に行われましたか	0%	0%	45%	30%	25%	
	12	各教科の評価結果の活用・改善について検討していますか	0%	0%	30%	45%	25%	
道徳	13	道徳の指導計画は生徒や地域の実態を考慮していますか	0%	5%	40%	30%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握をもっと共有する必要がある。 ・22項目の価値項目の中で学校として特に重点を置くべきものを全職員で意識する必要がある。 ・15の評価を意識してはいるが模索中である。 ・担当の先生を中心に頑張った。 ・市の地域教材の活用を計画的に行う必要がある。 ・各担当で教材の点検・確認を。
	14	指導のあり方や実践について計画的に進められたと思いますか	0%	0%	32%	53%	16%	
	15	道徳科を意識した指導教材の共有や評価を意識することができましたか	0%	0%	42%	42%	16%	
	16	道徳の時間を、道徳の時間として適切に活用できましたか	0%	0%	20%	25%	55%	
特別活動	17	特別活動の各分野についての指導の方針や重点が明確にされていますか	0%	5%	25%	50%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の取組の広がりをつくる。 ・学級活動や帰りの会での振り返りを計画的に実施する。 ・各学年での取組を他学年とも共有しながら必要に応じて全校体制に組み込む。 ・K P Tを活用して活動を振り返り、評価を必ず行う。 ・19, 20以前よりかなり改善されているが、担当教員による個人差はある。 ・委員会の活動が見えにくいものもあり、評価しにくい。 ・進路で部活動指導ができない場面も多い。 ・部活顧問と学年の連携が必要。
	18	学校行事と特別活動（生徒会・学級活動）との関連がうまくできましたか	0%	0%	30%	45%	25%	
	19	生徒が自主的・実践的に活動する態度を育てる指導が意欲的にできましたか	0%	0%	15%	55%	30%	
	20	生徒会本部、中央委員会・各種委員会の活動や指導が適切に行われましたか	0%	0%	30%	40%	30%	
	21	部活動では、生徒の意欲を高め、楽しく活動できるよう指導できましたか	0%	5%	21%	37%	37%	

生徒指導	22	生活指導の全体計画や指導体制が生徒・学校・地域の実態に基づいていますか	0%	0%	25%	35%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・より積極的な生徒指導が必要。 ・帰りの会で振り返りの時間を確保し、SGE等も組み込む(2学年) ・学年生徒指導への情報集約を確実にし、学年間でも共有する。 ・本校の生徒指導方針を再度読み込み、指導スタイルを共有する。 ・コーチングスキル研修を実施する。 ・Q-U検査の結果に基づいた相談活動を各学年で実施する。 ・23以前よりかなり改善されているが、まだ漏れることがある。 ・時間のけじめ、あいさつ、返事は改善の余地あり。 ・学年内での情報共有はできた。 ・学年関係なく全職員で！という意識は以前より高まっている。 ・清掃指導の改善が必要。
	23	生活指導に対する共通理解・協力的実践がなされていますか	0%	5%	11%	53%	32%	
	24	生徒の心身の発達や傾向に即応した生徒指導を行っていますか	0%	0%	20%	55%	25%	
	25	教職員は基本的な生活習慣を身につけさせる指導に意欲的でしたか	0%	0%	20%	45%	35%	
	26	集団指導と個人指導の調和がとれていましたか	0%	0%	20%	55%	25%	
	27	生徒理解に基づく教育相談が意欲的に行われましたか	0%	0%	15%	50%	35%	
進路指導	28	進路指導の計画が具体的なものになっていますか	0%	0%	30%	60%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の視点で学級活動や総合学習を見直す。 ・各学年のキャリア学習のつながりを明確し、生徒にそのカリキュラムを認知させる必要がある。 ・3年間を見通したカリキュラムを共有する必要がある。 ・1,2年次のうちから充実できると更によい。 ・昨年度と今年度のつながりがあまりうまくいっていない。 ・ワークシートをまとめたい。
	29	進路指導に必要な教材・資料などが整備されていますか	0%	0%	45%	45%	10%	
	30	生徒の個性や能力に応じた意欲的な進路指導を行っていますか	0%	0%	30%	50%	20%	
	31	進路指導の充実を図るための教師相互の協力ができていますか	0%	0%	25%	60%	15%	
保健・給食・安全	32	指導の重点が明確にされ、生徒の実態に基づいた計画がされていますか	0%	0%	35%	35%	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・「震災体験キャンプ」に主体的に関われるように活動を広げていく。 ・生徒が自主的に安全管理ができるような力をつけるために避難訓練の事前指導を充実させる。 ・歯の治療勧告による治癒率のグラフや給食のリクエスト献立の成分表などを委員会活動を巻き込んで続けていく。 ・担当教員による個人差はかなりある。共通理解が難しい。 ・登下校の安全指導の徹底が必要。
	33	生徒の健康や安全についての配慮を常に行っていますか	0%	0%	30%	30%	40%	
	34	安全教育(保健・給食指導、防災訓練)が計画的に行われていますか	0%	0%	15%	45%	40%	
	35	保健・給食、安全指導に関する環境整備の必要性を教職員が共通理解していますか	0%	0%	20%	65%	15%	
経営・組織	36	よりよい学校運営を進めるための校内分掌相互の連絡・調整ができていますか	0%	0%	25%	50%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム(部)組織を運営するには各学期で開催する必要がある。 ・「担当任せ」にならないようにチーム分掌をはっきり打ち出す。 ・委員会の各月の活動テーマを生徒会が集約し、提示できるとよい。 ・学校教育目標や学年目標、重点目標の共有や目標に対する具体的な取組を掲示し、周知する必要がある。 ・36,38以前よりかなり改善されているが、多くの仕事が一次的に同じ人に集中し、立て込んだときに漏れる場合がある。 ・意識されていない学級もある。 ・スタッフ会議は効果的。 ・会議資料を早めに作成する。
	37	学年・学級の目標は教育目標や指導の重点に基づいて立てられていますか	0%	0%	15%	50%	35%	
	38	学年・学級の相互の連絡が円滑で、学校全体として調和がとれていますか	0%	0%	20%	45%	35%	
	39	職員会議の円滑な運営を教職員が意欲的に行いましたか	0%	5%	10%	50%	35%	
	40	各種の委員会や部会は計画的に円滑に行われましたか	0%	0%	30%	35%	35%	

研修	41	校内研修の主題や年間計画について全教職員が共通理解していますか	0%	0%	15%	50%	35%	<ul style="list-style-type: none"> ・「振り返り」を充実させるために、生活記録帳や帰りの会も「振り返り」の一環であることを理解させる必要がある。 ・メタ認知するために「80字、2文接続詞」を共有し、各教科での「振り返り」を可視化する必要がある。 ・個人の研修テーマを設定し、1年間それぞれで取り組み、共有する。 ・指導案等の提出書類を計画的に時間確保しながら進めたい。 ・授業を自習にしばらく。
	42	分科会別の研修を協力的・意欲的に行いましたか	0%	0%	10%	35%	55%	
	43	校外の研修会・研究会に積極的に参加していますか	0%	5%	35%	35%	25%	
	44	研修の成果を教育実践の場に生かしていますか	0%	0%	15%	55%	30%	
教材・教具	45	教育活動を効果的に行うための教材・教具の整備・管理・活用はできていますか	0%	5%	35%	50%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・「置き勉」の保管場所を具体的に考えて全校で共有する必要がある。 ・廊下にもものを置き過ぎるので、2教室に1台配置する。（小学校の余っているテレビを持ってくる） ・I C T機器の管理・使用規定を作成し、共有する。 ・46概ねよいが学級差がある。 ・45ホワイトボードを準備したい。 ・学年によってうまく活用されていない教材もある。 ・T Vが各教室にほしい ・廊下に学習コーナーを作り、互いに学べる環境を作りたい。 ・教科間に差があるので教科部会で確認したい。
	46	校舎や教室・廊下等の学習環境が整っているといますか	0%	10%	20%	65%	5%	
	47	私費購入の副教材・学習帳などが有効に活用されましたか	0%	0%	25%	40%	35%	
	48	予算の編成・執行などの方法や手続きなどは現行のままでよいですか	0%	0%	35%	35%	30%	
施設・設備	49	校地・校舎の安全点検がよく行われていると思いますか	0%	0%	30%	30%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・教室のドアの破損を修繕する。 ・自転車小屋の照明器具の設置をなるべく早くしたい。（年度内に） ・清掃用具の再確認と配布を次年度に向けて確実に実施したい。 ・校庭脇の立ち入り禁止の改善を。
	50	施設・設備を各教育活動の場でよく活用していますか	0%	0%	30%	40%	30%	
	51	校地・校舎の維持管理について、教職員が協力して実践していますか	0%	0%	30%	45%	25%	
家庭・地域社会	52	保護者会・家庭訪問・授業参観・面談などが学校と家庭との連携を深めるために有効に生かされましたか	0%	0%	5%	50%	45%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会で事前に職場体験の変更を知らせていきたい。 ・保護者会でのS G Eを計画的に実施する。 ・学校のH Pを必ず見て、何が発信されているか確認する必要がある。 ・「放課後学び隊」を導入できた。 ・「白山トイレをきれいにする会」をおやじの会で開催、校内でも参加者を募り、共に活動して行きたい。 ・子供相談課、民生委員、生安課、ヤング手賀沼、児相等との連携や困難事例に対するケース会議を実施する。 ・57概ねよい、かなり改善された。何でも校内で抱え込まずに連携していきたい。 ・まだまだ協力してもらえ部分を作っていきたい。 ・授業参観の参加人数を増やしたい。 ・子ども相談課の対応がありがたい。
	53	家庭への発信（HP・学校だより・学年・学級通信、保健・給食だより、電話など）は、よく行われていますか	0%	0%	0%	35%	65%	
	54	保護者に協力してもらえるように働きかけることができましたか	0%	0%	25%	30%	45%	
	55	P T Aとの連携を深める諸活動への参加を積極的に行いましたか	0%	5%	20%	35%	40%	
	56	学校と地域社会との連携の重要性について、教職員の理解と協力はできていましたか	0%	0%	35%	35%	30%	
57	関係諸機関との連携はよくできていましたか	0%	0%	30%	45%	25%		

【学校評価アンケート（運営委員・分掌担当者）の考察】

以下の12分野（57項目）に対する聞き取り（学校評価アンケート）を20名の運営委員及び分掌担当者に実施した。

①教育目標・指導の重点，②各教科，③道徳，④特別活動，⑤生徒指導，⑥進路指導
⑦保健・安全・食育，⑧経営・組織，⑨研修，⑩教材・教具，⑪施設・設備，⑫家庭・地域社会
それぞれの分野の各項目の平均値が，80%以上…緑，70%以上…黄，60%以上…赤，50%以上…青と色分けした。早急に対応すべき青色の分野は今回なかったが，項目としては，11「教材・教具の整備」，13「実態に即した道徳」，15「道徳科の評価」，29「進路指導の教材・資料の整備」の4項目については，早急に具体策を練って，実践に移していきたい。

<分野別の成果と課題>

① 教育目標・指導の重点

目標の設定や意識の持たせ方，活用の仕方については概ねよいと考えるが，保護者への理解や他の分掌との関連付け，計画改善については，改善の余地がある。特に授業時数の確保と運用については，次年度の大型連休等を考えると，教育課程の編成には十分検討を加えていかなければならない。

② 各教科

ALの視点に立った授業改善はかなり進んでいる。教科内での格差を出さないよう科内での打ち合わせを効果的にやりたい。また，教材の精選や課題設定・評価についても年間指導計画を作成する際に教科内の振り返りを十分に生かしていきたい。新しい学習指導要領の移行措置に伴う指導計画の変更を再確認しながら，個に応じた指導の工夫に生かせるようにしたい。

教材・教具の管理・活用が十分に行えるよう，各教科部会の確保が課題である。

③ 道徳

授業時数の量的確保は計画通りにできた。課題は，学校の実態に即した指導計画の立案と授業評価である。次年度から実施される「道徳科」としての課題でもある。「考え議論する道徳」を具体的に進めていかなければならない。

④ 特別活動

生徒が主体的に活動できるように，生徒会や委員会，部会活動を中心に進めることができた。特に三つの伝統や学校行事については向上してきている。旅行的行事のねらいを意識し，学校としての系統性を持たせることができた。次年度の早めの取りかかりが課題となる。

⑤ 生徒指導

生徒指導に関する共通理解や協力体制は改善されてきている。生徒に寄り添う丁寧な指導も推進されてきている。聴く姿勢を大切にし，生徒理解に基づく指導・支援が推進されている。課題は，全体計画や指導計画等が実態に即したものになるように次年度に向けて十分に見直す必要がある。

⑥ 進路指導

進路指導については、キャリア教育のねらいを十分に捉え、進学指導に偏らない指導計画を見直す必要がある。併せて進路指導に関わる教材・教具の共有・整備も次年度に向けての課題となる。進学指導については、今年度の課題や資料、教材等を次年度に確実に引き継ぎ、改善を図っていきたい。

⑦ 保健・給食・安全

教職員間での保健安全に関する課題の共有は進んできている。また、安全教育（保健、給食指導、防災訓練等）が計画的に実施されていると感じられている成果は大きい。生徒が主体的に安全管理に努め、地域で避難を支援する側としての意識をより高めていきたい。

⑧ 経営・組織

学校教育目標を頂点に各学年・学級の目標や委員会、部活動の目標が意図的に設定され、目指す姿が共有されるようになった。特に「目指す授業像」を各学級で設定したことも意義があり、目標と実際がつながるようになってきているのは、マネジメントを進める上で、大きな成果となった。

⑨ 研修

決められた出張研修意外に、校外の研修に自主的に参加することはなかなか難しいが、若手研を中心に他校への研修参加が増えたのは意義深い。校内研修については、現在の課題に十分適合した研修となっており、昨年度から行っている教科の壁を取り払った研修体制ができあがったのも大きな成果となった。

⑩ 教材・教具

教材・教具の保管、管理を見直し、整備してきているが、更なる改善が必要である。保管場所の確保が急務なので、空き教室がない中ではあるが、現状の保管状況を把握し、教科部会の協力体制をつくりながら改善していきたい。

⑪ 施設・設備

毎月の安全点検を基に、自分たちで修繕できるものについては積極的に片付けたが、予算を伴うものの執行については、優先順位を加味し、安全配慮を怠らないように進めていきたい。

⑫ 家庭・地域社会

学校の教育活動については、HPや学校・学年だより等で積極的に広報することができた。保護者の理解も深まり、協力体制が築かれてきている。特にPTA役員や支援やおやじの会の協力も推進力となっている。

関係諸機関とも連携を深めることができた。特に市教委教育研究所や市役所子ども相談課とは積極的に会合を持ち、連携を深めてきた。長欠対策や家庭に困り感を強く持つ生徒の指導・支援が円滑に行われるようになってきた。

学校課題を解決するための地域連携の必要性や有用性を教職員間で共有すると共に保護者への発信も行っていきたい。